

社会福祉法人同仁会就職準備資金貸付規程

(目 的)

第1条 この規程は、社会福祉法人同仁会（以下、「法人」という。）に採用される職員の就職に必要な費用（以下、「就職準備資金」という。）の貸付方法及び事務手続き等を規定することにより、貸付の適正かつ効率的な運営を図ることを目的とする。

(貸付の対象者)

第2条 就職準備資金の貸付対象者は、法人の採用試験を経て内定を受けた者のうち、修学終了後翌年度当初から常勤職員として従事することを予定する者とする。

2 前項の貸付対象者が内定を辞退し、既に貸付金の交付がなされている場合は、貸付金の全額を一括で返済するものとする。

(貸付額、貸付回数及び貸付期間)

第3条 就職準備資金の貸付額、貸付回数及び貸付期間は次のとおりとする。

- (1) 貸付額は、300,000円を限度とする。
- (2) 貸付回数は、一人あたり一回限りとする。
- (3) 貸付期間は、原則として3年間を限度とする。

(貸付金の利子)

第4条 就職準備資金の貸付利子は、無利子とする。

(貸付けの申請)

第5条 就職準備資金の貸付を受けようとする者（以下「申請者」という。）は、就職準備資金借入申請書（様式第1号）に必要事項を記入の上、就職内定先の所属長を通じて理事長に申請しなければならない。

(連帯保証人)

第6条 申請者は、連帯保証人を1名立てなければならない。

- 2 前項の連帯保証人は、独立の生計を営む成年の者とする。
- 3 申請者が未成年の場合は、連帯保証人は法定代理人でなければならない。
- 4 連帯保証人は、就職準備資金の貸付を受けた者（以下「借受人」という。）と連帯して債務を負担するものとする。
- 5 借受人は、連帯保証人が死亡し、破産手続開始の決定を受け、その他連帯保証人として適当でなくなったときは、速やかに連帯保証人変更届（様式第2号）を理事長に届け出、その承認を受けなければならない。

(貸付けの決定)

第7条 理事長は、第5条に規定による申請があったときは、申請書類を審査の上、貸付けの可否を決定するものとする。

2 理事長は、前項の規定により貸付けの可否を決定したときは、その結果を就職準備資金貸付決定通知書（様式第3号）により、申請者に通知するものとする。

(貸付契約)

第8条 前条の規定による貸付決定の通知を受けた者は、通知を受けた日から15日以内に、次の

各号に定める書類を理事長に提出しなければならない。

- (1) 就職準備資金借用証書（様式第4号）
- (2) 就職準備資金口座振替依頼書（様式第5号）
- (3) 連帯保証人の印鑑登録証明書（発行日より3か月以内）
- (4) 就職準備金返済計画書（様式第6号）

2 前項の期間内に書類の提出がない場合は、本規程による貸付金の借受けを辞退したものとみなす。

（貸付金の交付）

第9条 理事長は、前条第1項の規定により書類の提出があったときは、速やかに就職準備資金を口座振替の方法により一括交付するものとする。

（返済）

第10条 貸付金の返済は、借受人から提出された就職準備金返済計画書により決定し、返済するものとする。

2 返済が完了する前に借受人が退職する場合は、退職日までに貸付金の未返済額を返済するものとする。

（返済義務の履行猶予）

第11条 理事長は、借受人が災害、疾病その他やむを得ない理由により貸付金を返済することが困難であると認めるときは、その理由が継続する期間、債務返済の履行を猶予することができる。

2 前項により返済の猶予を受けようとする借受人は、就職準備資金返済猶予申請書（様式第7号）に必要事項を記入の上、所属長を経由して理事長に申請しなければならない。

3 理事長は、前項の申請があったときは、申請書類を審査の上、返済の猶予の可否を決定するものとする。

4 理事長は、前項の規定により返済の猶予の可否を決定したときは、その結果を就職準備資金返済猶予申請結果通知書（様式第8号）により、申請者に通知するものとする。

（延滞利子等）

第12条 借受人は、正当な理由がなく返済期限までに貸付金を返済しなかったときは、当該返済すべき日の翌日から返済の日までの期間の日数に応じ、返済すべき額につき年3.0パーセントの割合で計算した延滞利子を支払わなければならない。ただし、返済すべき日とは、最終返済日の属する月の末日とする。

（委任）

第13条 この規程に定めるもののほか、必要な事項は理事長が別に定める。

付 則

この規程は、令和5年12月1日から施行する。

様式第1号

決 裁			事務局回付	
施設長等	主任	係	長	係

社会福祉法人同仁会理事長 様

年 月 日

就職準備資金借入申請書

次のとおり就職準備資金の借入を申請いたします。

※申請者記入欄

借入希望金額	金 円			
(ふりがな) 氏 名	Ⓜ		性別	男 ・ 女
生年月日	年 月 日生まれ (歳)			
現住所	〒 -			
電 話	自 宅		携 帯	
就職予定年月日	年 月 日			
利用計画 (借入の目的) <small>※該当するものに○をつけてください。</small>	() 礼金、敷金又は転居費など転居に伴う費用		円	
	() 職員として必要となる物品の購入費用		円	
	() 通勤用の車等の購入費用		円	
	() その他 ()		円	

※連帯保証人記入欄

(ふりがな) 氏 名				申請者との関係	
生年月日	年 月 日生まれ (歳)				
現住所	〒 -				
電 話	自 宅		携 帯		
勤 務 先	名 称				
	住 所				
	電 話				

本申請に基づき契約が締結された場合、連帯して債務を負担することに同意します。

連帯保証人 Ⓜ

様式第2号

決 裁			事務局回付	
施設長等	主 任	係	長	係

社会福祉法人同仁会理事長 様

年 月 日

連帯保証人変更届

次のとおり変更したいので届出いたします。

新連帯保証人

(ふりがな) 氏 名					申請者との関係
生年月日	年 月 日生まれ (歳)				
現住所	〒 ー				
電 話	自 宅		携 帯		
勤 務 先	名 称				
	住 所				
	電 話				
新たに連帯して債務を負担することに同意します。(実印を押印してください)					
				連帯保証人	実印

旧連帯保証人

(ふりがな) 氏 名					申請者との関係
生年月日	年 月 日生まれ (歳)				
現住所	〒 ー				
電 話	自 宅		携 帯		

変更の理由

(注) 新連帯保証人の印鑑登録証明書(原本)を添付してください。(発行日より3か月以内)

様

社会福祉法人同仁会理事長

就職準備資金貸付決定通知書

このたび申請のありました、就職準備資金の貸付については、下記のとおり決定しましたので、通知します。

記

1 審査結果 貸付を承認します ・ 貸付を承認しません

2 就職準備資金の貸付を承認された方へ（以下は、貸付を承認した場合のみ記載）
申請のあった就職準備資金の貸付は、以下のとおり承認されましたので確認してください。
なお、この決定通知の日より起算して15日以内に「提出が必要な書類」を法人事務局まで提出してください。提出がない場合は、貸付金の借受けを辞退したものとみなします。
貸付番号は今後必要となりますので、本決定通知書は大切に保管してください。

貸付番号	
借受人氏名	
貸付金額	金 円
連帯保証人の氏名	
提出が必要な書類	① 就職準備資金借用証書（様式第4号） ② 就職準備資金口座振込依頼書（様式第5号） ③ 連帯保証人の印鑑登録証明書（発行日より3か月以内） ④ 就職準備資金返済計画書（様式第6号）

就職準備資金借用証書

年 月 日

社会福祉法人同仁会理事長 様

私は、就職準備資金の借受人として、社会福祉法人同仁会就職準備資金貸付規程を遵守することを誓約します。

貸付番号	
借受人住所	
借受人氏名	印
貸付金額	金 円

私は、借受人に上記のとおり履行させるとともに、万一、借受人が履行しない場合は、その債務の一切を負担し弁済することを確約いたします。

連帯保証人 住所 〒 -

氏名

実印

- 【備考】
- 借受人及び連帯保証人は、それぞれ本人が氏名欄に署名してください。
 - 連帯保証人は、申請書に記載された方と同一の方となります。
 - 連帯保証人は実印を押印し、印鑑登録証明書（発行日より3か月以内）を添付してください。

様式第5号

決 裁			事務局回付	
施設長等	主 任	係	長	係

社会福祉法人同仁会理事長 様

年 月 日

就職準備資金口座振替依頼書

借受人氏名 _____ ⑩

就職準備資金を下記の口座に振込していただきたく依頼します。

貸付番号			
振込先	金融機関の名称		本・支店の名称
	口座種類	普通 ・ 当座	
	口座番号		
	口座名義		

※ 必ず借受人本人の口座を記載してください。

様式第6号

決 裁			事務局回付	
施設長等	主 任	係	長	係

社会福祉法人同仁会理事長 様

年 月 日

就職準備資金返済計画書

借受人氏名 _____ ⑩

就職準備資金の返済計画を提出します。

貸付番号	
借入金額	金 _____ 円
借入期間	年 _____ 月 から 年 _____ 月 (_____ か月)
返済方法	

- 注 1 借入期間は、36か月が限度です。
2 返済方法に変更がある場合は、都度申し出てください。

様式第7号

決 裁			事務局回付	
施設長等	主 任	係	長	係

社会福祉法人同仁会理事長 様

年 月 日

就職準備資金返済猶予申請書

申請者氏名 _____ ⑩

貸付を受けている就職準備資金の返済の猶予を受けたいので、下記のとおり申請します。

貸付番号		借受人氏名	
貸付金額	金	円	
未返済額	金	円 (年 月現在)	
返済猶予期間		年 月～	年 月 (年 月間)
申請理由	1 災害、疾病、負傷 2 その他 ()		
理由発生年月日		年 月 日	

【備考】添付する書類

申請理由が確認できる書類（罹災証明、診断書、休職証明等）

様

社会福祉法人同仁会理事長

就職準備資金返済猶予申請結果通知書

このたび申請のありました、就職準備資金の返済猶予については、下記のとおり決定しましたので、通知します。

貸付番号		借受人氏名	
返済猶予を許可する期間	年 月から	年 月まで（	年 月間）
返済猶予期間終了後の返済期間	年 月から	年 月まで（	年 月間）
未返済額	金		円
備考			